

若鯨杯 ルール

1:大会構成

- ・各日全4回戦とし、1卓4人で行う、東風戦を1回とする。
- ・1回戦の制限時間は45分とし、時間切れの場合はその時点の局で終了とする
- ・各日の上位4名は後日開催のチャンピオンシップの参加権利を得る。

順位決定方法は①現ポイント順 ②その1つの前の対戦までのポイント順

2:用具

- ・麻雀卓は手積み卓を使用する。
- ・点棒は競技者1名につき、1万点棒1本・5千点棒2本・千点棒4本・5百点棒2本を使用する。
- ・スコア表は卓で共有するので、記入した用紙だけを点数が多い人が運営に持っていく。

3:配牌ルール

手積みのため以下の手順で行う。

- ①手牌を伏せる
- ②上山の牌を手前におろす
- ③捨て牌を含め表向きの牌を裏向きにする
- ④裏向きのまま全員で混ぜる
- ⑤親が山を積み始めたら、子も山を積み始める

※途中表になった牌は見つけ次第、裏向きに戻す

※積む最中に山が過度に崩れた場合、再度、③から行う

4:発声・会話

対局中の発声・会話は

- ①チー、ポン、カン、リーチ、ロン、ツモ
- ②点数申告
- ③点棒の両替
- ④制限時間前または最終局前の点数確認
- ⑤審判に質問や意見(挙手をする)
のみとする

また、本大会の性質上局の終了から配牌までの間のみ会話を認める。

ただし、他者へのアドバイス、マウントともとれる行為などは禁止とする。

※チーを行う場合、ポン・カンの発声が優先されるため、

少し間を置いてからチーの発声を行う。ポン・カンを行う者は速やかに発声すること。

※誤発声については「すみません、間違えました」と謝り、特にペナルティは課さない。

5: 対局者

- ・対局者は本規定を遵守し、公平にプレーをする。
(だれかをひいきしたり、手加減をしない)
- ・質問や他者への注意があれば挙手して審判に進言する。

6: 席・場決め

- ・席は1～3回戦は無作為な方法で席次を決める。
- ・場決めは、対局者が予め洗牌された東南西北の牌を引くことによって決定する。
- ・東を引いた者が起家となり、それぞれが引いた風牌の通りに着座する。
なお、東の位置は審判の指示に従う。
- ・4回戦は3回戦までの順位に基づいて配置される。参加者数によって変動するものとし、その組み合わせは3回戦終了後に発表される。

7: 終了

- ・残り10分になった時点で、本部より「得点申告を行う」旨をアナウンスする。
その後、対局者はその時点での持ち点を卓内で共有する。
- ・時間切れのアナウンス時点の局まで有効とする。
- ・終了時、残っている供託はトップ者が獲得する。
- ・持ち点が無くなった場合でも終了とはせず、挙手をして審判から点数の補充をしてもらう。

8: 打ち方

- ・不正防止のため、配牌後、理牌以外は極力、片手で行う。
- ・他者が不快になる強打は禁止とする。
- ・競技とその進行に影響を及ぼさない様に、摸打のペースに気を配る。

9: 本場

- ・本場は採用しない。

10: リーチ

- ・リーチの発声後、次の者が打牌を行う前であればリーチの取り消しを認める。
- ・ノーテンリーチはゲームの完全性に大きな影響を与えてしまう。したがって、終局時にノーテンリーチが発覚した場合、その者はペナルティが与えられる。
- ・ノーテンリーチのペナルティは全員に2000点ずつを支払うこととし、その局はやり直しとなる。その際のリーチ棒は供託とする。

11: アガリ

- ・ダブロン、トリロンあり。

12: 縛り・場ゼロ

- ・アガリ時に一翻以上の役を必要とする。これを常時一翻縛りという。
- ・アガリに対しては、常時二翻を加えて計算する。

13: 得点

大会独自の、簡易式得点計算方法を採用する(以下の表は子の点数)。

【子】

1翻	1000(500/500)
2翻	2000(500/1000)
3翻	4000(1000/2000)
4・5翻	8000(2000/4000)
6・7翻	12000(3000/6000)
8・9・10翻	16000(4000/8000)
11翻以降	24000(6000/12000)

※場ゼロ2翻を除いたもの

※数え役満はなし

※括弧内はツモ時(子/親)

- ・親は上記の点数の1.5倍とする。

14: アガリ役

Mリーグルールに準ずる。

- ・パオなし。

15: 審判・スタッフ

- ・困ったことや分からないことがあれば、審判やスタッフを呼ぶ。卓内で勝手に解決しない。
- ・裁定に関する決定権は運営が定めた審判が有し、最終決定権は主催者にある。

16: マナー・ペナルティ

本大会はマナーを重んじる。まずは「すみません」と伝える。

参加者は以下の事項を意識すること

- ・他人に優しく、自分に厳しく
- ・最初は「お願いします」、最後は「ありがとうございました」
- ・先ヅモをしない
- ・牌は優しく扱う。見せ牌や強打はしない
- ・泣きそうになった時は深呼吸して、お水を飲もう

本大会におけるペナルティは以下とする

- ①局終了時に発覚したノーテンリーチは、全員に2000点ずつ支払い、その局はやり直す
- ②多牌・食い換えは、アガリ放棄でノーテン扱いのまま進行する
- ③その他主催が特別必要と判断した場合(例: 審判の指示に従わない)

なお、少牌は発覚時点で他者の確認を取り、次のツモ牌を手牌に入れる。ペナルティはない。

※このルールは2025年版です

調整期間を経て来年以降はよりMリーグルールに近づけていく方針です。

17: 本ルールの適用範囲

- ・罰則を除き本ルールに記載のない事項はMリーグルールに準ずる。
- ・Mリーグと本ルール間で行き違いが発生した場合、本ルールを優先する。
最終的な決定は主催者が行う。

Mリーグルール



2025年2月22日 制定

監修 新留悠平(最高位戦日本プロ麻雀協会)

文責 ボドゲ先生